



少し早い お正月！

Contents・目次

町長がおじゃまします	2.3
まちの話題	4
剣道スポーツ少年団紹介・インフォメーション	5
図書室だより	6
今月のおすすめ料理	7
戸籍だより・あとがき	8

そうや自然学校では11月30日、「臼と杵でもちつき体験」を開催しました。23名の子どもや大人達で、4kgのもち米を使ってあんもちなどを作って、みんな美味しくいただきました。

ロマン息づく大自然の町ー中頓別



地域づくり懇談会「町長がおじゃまします」

町民からの要望受け止め、新年度町政に反映

地域懇談会の見直し求める意見も



旭台・弥生・寿自治会から10名の参加

平成25年度の地域づくり懇談会「町長がおじゃまします」が11月6日、13日にかけて、希望する自治会を対象に行われました。この懇談会は、中頓別町自治基本条例第8条の規定に基づき、町民が町政に参加する権利を保障し、町民から意見を聞く機会として行うことを目的としています。

今年度は、22自治会中14自治会を対象に行われ、延べ77人の住民が参加。町長との間で、率直な意見交換が行なわれました。

町側からは、近年力を入れて「新規就農希望者の受入実施状況」と「インフルエンザ予防接種」について説明。新規就農者一組が現在松音知地区で実習を積み、いること、医療費の抑制を図るため一人でも多くの町民が予防接種を受けるよう理解を求めました。

意見交換は、防災対策のほか、有害鳥獣駆除、農業振興や後継者問題、光回線の普及、ピンネシリ温泉、長寿園（特養）の改築など、町政が直面する様々な課題に及びました。

【主な意見要望と答え】

防災対策では、洪水時の避難場所について、「避難所が決まっていなくても安全かどうか分からない。逃げるのが一番」との意見に対し、町からは、「災害は洪水だけに限定できない。一番大事なのは自助・共助・公助の順で身を守ることであり、日頃から隣近所で防災について話し合うことが大切。防災訓練は、主に公助の役割の確認が中心。避難所も、防災訓練も一応の想定があることであり、実際の災害では、臨機応変な対応が求められる」。

「頓別川やペーチャン川が氾濫すれば、町民センターや役場も浸水することが想定される。いつ起こるか予想できない災害には、防災訓練で迅速な避難を身に付けたら、防災備品を備えるなどの対策しかない。今後少しずつ対策費を予算計上したい」。

有害鳥獣駆除対策として、今年度はエゾシカ駆除500頭を予定。長年課題となっていた駆除後の残滓対策について、「先進地視察、検討を経て一定の方向性は出て

おり、設置場所、運営母体をどうするか段階。処理方式を含め、検討委員会から答申が出される。平成26年度に施設の建設を予定。ハンターは1名増えた。狩猟免許を取る人には今後も助成したい」。

農家振興と後継者対策については、「新規就農は、第三者継承と公社営事業の2種類あるが、宗谷管内を指す人は少ない。都会からきた人は、放牧酪農を希望するが積雪寒冷地のため経営は厳しい。育成牧場のほか、農協が搾乳牧場をやるなら応援はできる。20代、40代の配偶者を持たない農業者が16名いる。そこにターゲットを絞り後継者対策を図りたい」。

光通信網整備では、松音知、敏音知もエリアにしてほしいとの要望には、「市街地は10月から使えるようになった。旭川のドコモを通じて要請し、近い将来沿線でも使えるようにしたい」。

ピンネシリ温泉の経営赤字と苦情等について、「前年度売上総額は4,000万

円程度。赤字分は、町費でなく、株主資本金1,000万円から442万円を補てん。指定管理料は870万円。商売は水もので、宿泊、入館者が減れば赤字になる。一番の原因は、最低賃金改定に伴う人件費、燃料費（灯油）の高騰が大きい。過去5年間の指定管理料を調査し、見直しを検討したい。「前は苦情が多かった。新支配人は地元出身であり、町民の期待に応えた運営をするよう申し入れた」。

長寿園（特養）の拡充の要望に対しては、「平成28年度に実施を予定。ユニツト方式でなければ、国の補助対象にならず財源の壁にぶつかっている。国等に要望したい。工事費は概算で6億円程度。改修により、職員も増やさなければならず利用料が高くなる恐れがある。現行の4人部屋から、2人又は1人部屋に改修したい」。

自治会単位の「町長がおりやまします」では参加者が少ないことについて、「団体に別年度に実施することも視野に、来年度に向けやり方を見直したい。自治会連合会の総会で懇談会のあり方を相

談してみたい」。

浜頓別高校の統廃合問題とバス定期代への補助について、かつて、中農高を存続させるために、本町が寮費や帰省、免許取得などで年間2,000万円程度を町費で助成したことを考えると、浜頓別町が定期補助も面倒をみてよく、現行の3割助成を引き上げる考えはない。管内の学区が、宗谷一つになり、浜高や枝高も統合される可能性が高まった。浜頓別町は、生徒を獲得するためにより強力な支援策を持たなければならぬ」。

除雪対策について、交差点の排雪について、「交差点が雪で見通しが悪いときは、排雪するように指示している。国道や道々は事故があったときに困るので手をつけられない」、参加者からは、「民間で除雪を請け負った業者が交差点に雪を置いている。タイヤやショベルと4トンダンプのセットで除雪するよう規制すべき」との提言もありました。

人口減少が激しいことについて、「高齢化率が36.7%であり、毎月、2・3人亡く

なっている。少子化で生まれる方が7・10名程度。未婚者が多く、本人に積極性がなく、職種に関係なく交流の場がでないか検討中だが大変難しい問題」。

土建業関係者からの事業要望等については、「平成20年度早期健全化団体になった一番の原因は、借金が多いこと。もし、早期健全化団体を乗り越え、赤字団体（財政再生団体）になれば、業界だけでなく、全町民に影響が出る。財政的に許せる範囲で事業の掘り起こしに努めたい」。



地域づくり懇談会（団体編）に出席した方々
左から、峰友森林組合長、十倉農協組合長、細谷建設協会会長、桜田商工会会長、多羽田商工会事務局

団体編

11月29日夜、中頓別町農業協同組合、中頓別町・浜頓別町森林組合、中頓別町商工会、中頓別町建設協会から5名の参加をいただき、役場会議室で地域懇談会「町長がおじゃまします」が開かれました。各界の代表から、まちづくりへの提言、切実な要望が出されました。農業協同組合からは、育成牧場での草地更新による受胎率向上への期待、森林組合からは、林道作業道整備の継続による造林環境の向上や合併せず単独組合での経営の困難さ、商工会からは、光回線網の沿線への普及促進、担い手・後継者対策、建設協会からは、公共事業がかつての三分の一程度に減少している現状から、若年者通年雇用の難しさ、安定的な事業の掘り起こしなどが要望意見として述べられました。これらの意見や要望に対し、野邑町長は計画的に取り組みたいと答え、今後のまちづくりには生かすことを確約していました。

長年の消防団活動認められ 代蔵稔昭さんに叙勲の榮譽

元南宗谷消防組合中頼別消防団分団長の代蔵稔昭さんが、瑞宝単光章を受章されました。

代蔵さんは、昭和30年6月に消防団員を拝命されて以来、40年の長きにわたり消防の発展向上に尽力され、後進に道を譲るべく平成8年3月31日に中頼別消防団を勇退されました。

この間、「自分の地域は自分で守る」を合言葉とし、

地域住民に対して火災予防の思想を普及をめざし火災予防活動を推進してきました。

代蔵さんの所属していた敏音知分団の多くは酪農業を営む地域で、市街地には消防栓、防火水槽があるものの、多くは自然水利を活用しなければならぬ地域でした。そのため、率先して各家庭の防火査察や自然水利の確認を行い火災予防に努められました。

「この度、平成25年秋の叙勲に際し、はからずも瑞宝単光章を受章いたしました。が、この身に余る榮譽はひとえに皆様方のご指導ご鞭撻の賜りと深く感謝申し上げます。

今後は、この榮譽に恥じることをないよう一層精進致し、いささかなりともご芳情に報いたいと存じます。ので何卒従前のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

代蔵 稔昭



皇族・閑院宮載仁親王の直筆か！？ 旧丹波屋旅館洋館に 滞在の可能性も



古びた黒縁の額には、金箔で裏打ちされた和紙に力強くも流麗な「協心（きょうしん）戮（りく）（？）力（りょく）」（全員の力を合わせて一致協力する意）の書。左の余白には、「載仁親王」の署名と二箇所落款が押されています。「親王」は皇族男子の称号で、「載仁」は戦後断絶した宮家の一つ閑院宮家の当主だった載仁親王のことです。

「丹波屋旅館洋館の一室に架けられていたと伝え聞いている皇族の書に違いない」。かつて同旅館を営んでいた足立キミ子さん（札幌在住）から書を譲り受けたとき、星川三喜男さん（旧丹波屋旅館保存会長）は直感したそうです。

閑院宮載仁親王は、1865年（慶応元年）生れ。宮家皇族ながら陸軍幼年学校に入学。卒業後、フランスの陸軍士官学校に留学し明治24年に帰国。日清、日露戦争で武勲をあげ、大正元年には陸軍大将、その後元帥となり、昭和6年には参謀総長に就任。稀に見る美男子で、青年時から立派な髭を生やしていたことから「髭の参謀総長」と呼ばれたとか。終戦直前の1945年（昭和20年）5月、81歳で薨去（こうきょ）されています。

星川さんは、「足立さんからは、保存活動に役立ててほしいと願いを託されている。できれば専門家に筆跡鑑定してもらい、元の部屋に掛けて一度お披露目したい」。

この書が直筆なら、載仁親王が小頼別を訪れ、滞在した可能性も浮上しますが、町史には記録がありません。一説では、親王は昭和6年来道し、層雲峡温泉まで足を延ばしたとのこと。あくまで仮説ですが、商人たちの利用が多かった駅前旅館に洋館（昭和2～3年頃建設）は不釣り合いなことから、親王の宿泊場所として建てられたとの推測も成り立ちます。

書の里帰りで、国の登録有形文化財である旧丹波屋旅館に、また一つ歴史的価値が加わることになりました。

「このゆびと〜まれ♪」 の活動

※11月6日 こども館 人形劇・
大型絵本読み聞かせ



※11月21日 保健センターにて乳
幼児健診読み聞かせ



図書館
だより

注目の新着本

(一般書)

『伝え方が9割』
ダイヤモンド社

著：佐々木圭一



なぜ、伝え方で結果が変
わるのか？
この本で学べば、あなた
のコトバが一瞬で強くなり、
人生が変わります。

(児童書)

『ゆきだるまのきもち』文：中川ひろたか
絵：村上康成 自由国民社



12月はとくべつな月。
お誕生日にはこの絵本を。
とっておきのおはなしと12
月の誕生石・誕生花・行事など
プチ情報もついています。

「北海道立図書館の市町村支援事業により、
400冊の図書を借り受けましたので、どう
ぞご利用ください」



『としょしつまつり』

昨年に引き続き、芸術祭会場の町民センターで
「としょしつまつり」を行いました。
人形劇「はなさかじいさん」を披露し、絵本の
読み聞かせのあと、各自が人形作りに挑戦しまし
た。



今月のおすすめ料理

～寒い季節におすすめ飲み物～

～しょうがミルク・しょうがレモンティーの作り方～



<しょうがミルクの作り方>

- ①鍋に牛乳を入れ、薄切りにした生姜を加えて、ふきこぼれないよう弱火でゆっくり加熱する。
- ②火を止めてから、はちみつを入れよく混ぜてできあがり。

<しょうがレモンティーの作り方>

- ①沸騰したお湯をコップに注ぎティパックを入れておく。その間に生姜をすっておく。
- ②①のコップのティパックを取り出し、すった生姜、はちみつ、レモン果汁を加えよく混ぜてできあがり。

しょうがミルクの材料

(1人分)

- ☐ 生姜・・・1／3片
- ☐ 牛乳・・・1カップ
- ☐ はちみつ・・・小さじ1

しょうがレモンティーの材料

(1人分)

- ☐ ティパック・・・1コ
- ☐ 水・・・・・・・・コップ1杯
- ☐ レモン果汁・・・お好みの量
- ☐ 生姜・・・・・・・・小さじ1
- ☐ はちみつ・・・お好みで



栄養士 市本美由紀

今回は、これからの季節にピッタリの生姜を使った温かい飲み物、しょうがミルクとしょうがレモンティーをご紹介します。

ポイントとして、しょうがミルクの牛乳は、ふきこぼれやすいので弱火でゆっくり加熱しましょう。しょうがレモンティーにはスライスした生姜を加えてもおいしくできます。

生姜には血行を良くし体を芯から温める成分が含まれていて、風邪のひき始めや冷え性に有効です。

また、魚や肉などの臭みをとる消臭作用、細菌の増殖を抑える抗菌作用や抗酸化作用が高く、老化やがんを予防する効果も期待できます。

保存方法としては、丸のままなら日持ちしますが乾燥すると繊維が目立ってきてしまうので、おろしてから冷凍するなどの工夫をするといいでしょう。

皆さん、代謝を活発にする働きがあり、抗菌、抗酸化力もある生姜を利用して、冬の寒い時期を乗り切っていきましょう。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —

小春日の千代さんの唄口ずさむ 高橋 恵翠	大声の詩吟はじける文化の日 山崎 静女	日照雨に変わって寂し芒原 平田 栄珠	撮る方の緊張解けず七五三 高橋 妙子	紅葉山幸せそうな農一家 菅原 貞子	短日の今日も下校の子を見守る 東海林 海峯	喜怒哀楽経て金婚や木の葉髪 武田 雄峰	やまなみ吟社 十一月例会
-------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------------	------------------------	-----------------

戸籍だより

11月1日～11月30日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ掲載しています。)

おくやみ

字中頓別 村越 智恵子さん
(93歳 11月4日)

字中頓別 森川 ヒサさん
(94歳 11月5日)

うぶごえ

字中頓別 鈴木 ^{りんか}李花ちゃん
(智博さんの子 11月27日)

工業統計調査にご協力をお願いします

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象としてその活動実態を明らかにすることを目的としています。

調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用され、企業、大学などの研究資料や小・中・高等学校の教材になります。

対象となる事業所には、12月中に調査員が調査用紙を配布し、1月上旬を目途に回収にうかがいますので、ご協力お願いいたします。

また、不明な点がございましたら、調査員が役場総務課統計担当までご連絡ください。

人のうごき

(平成25年11月30日現在)
世帯 936(-3)
人口 1,911(-2)
男 948(0)
女 963(-2)
()内は前月対比

※世帯数・人口・男・女には、外国人も含まれます。

編集後記

日ごとに寒さも増し、通勤が身にしみます。よほどのことがない限り歩いて仕事場に通っていましたが、近ごろは車に頼ってしまいます。今は道路がアイスバーンになっていたりして滑って転んでケガでもしたら大変と自分に言い訳し、車で通勤しています。

今年もあとわずか。インフルエンザなどにかからず、お互い健康には留意し、年の瀬を過ごしましょう。

(tady)

今月の裏表紙



自分たちで、餅をついて、あん餅を作って疲れたけど、食べたら最高疲れも飛んじゃいました。

広報誌なかとんべつ 12月号 Vol.649

【発行】 2013年12月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 TEL 01634-6-1111 FAX 01634-6-1155
HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail : info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。